



Chartered April 11, 1998

# THE Y'S MEN'S CLUB OF ASHIYA

President : Masanori Oowa Address: 〒654-0013 1-1-5 Ote-cho, Suma-ku, Kobe  
 Mail : herculesbeatles@gmail.com Tel. : 078-737-0850 Jspan  
 URL : [http://www.kobeymca.org/kobe\\_ymca/ys/ashiya.html](http://www.kobeymca.org/kobe_ymca/ys/ashiya.html)

## 主 題

国際協会会長 Kim Sang-Chae(Korea)  
 "Y's Men with the World" 「世界とともにワイズメン」  
 アジア太平洋地域会長 大野 勉(神戸ポートクラブ)  
 "Make a difference beyond the 100th"  
 「100年を越えて変革しよう」 スローガン:「健康第一！」  
 西日本区理事 新山兼司(京都トップス)  
 "Challenges for the future" 未来への挑戦  
 六甲部部长 大野智恵(神戸ポートクラブ)  
 寄り添い、分かち合い～『三方よしで、みんな笑顔』  
 Snuggle up and share with you "Smile on each side"  
 芦屋クラブ会長 大岩雅典  
 ワイズメン相互の知識理念の共有

## 今月の聖句

誘惑に陥らぬよう、目を覚まして祈っていなさい。心は燃えても、肉体は弱い。  
 <マタイ福音書 26:41>

## 1月第1例会

と き: 2022年1月19日(水) 19:00~21:00  
 と ころ: 芦屋市民センター203号室  
 司 会: 柏原佳子ワイズ

- |               |                         |
|---------------|-------------------------|
| 1. 開会点鐘       | 大岩雅典会長                  |
| 2. クラブソング     | 斉唱 一同                   |
| 3. 聖書朗読       | 羽太英樹ワイズ                 |
| 4. ゲスト・ビジター紹介 | 柏原佳子ワイズ                 |
| 5. 新入会員入会式    | 司式: 上野恭男ワイズ             |
|               | 立合い: 濱浩一 EMC 主査(西宮クラブ)  |
|               | 挨拶: 大野智恵六甲部部长(神戸ポートクラブ) |
| 6. 食前感謝       | 山口光一ワイズ                 |
| 7. 会食・歓談      | 「美味しいうな重」               |
| 8. 新春放談会      |                         |
| 9. 事務報告       | 大岩雅典会長                  |
| 各事業委員報告       | 各事業委員                   |
| 10. YMCA報告    | 坂本孝司担当主事                |
| 11. ニコニコ報告    | 坂東幸子ワイズ                 |
| 12. 誕生日祝い     | 大岩雅典会長                  |
|               | 中山豊美ワイズ、島田保子メネット        |
| 13. 閉会点鐘      | 大岩雅典会長                  |

会 長	大岩雅典
直前会長	大岩雅典
副 会 長	菅原 進・福原吉孝
書 記	柏原佳子・上野恭男
会 計	羽太英樹
監 事	五十嵐政二
連絡主事	坂本孝司
六甲部メネット主査	上野恭男

1

Jan., 2022  
295号

## 「新春への想い」

会長 大岩雅典

皆さま新年おめでとうございます。  
 今年2022年、アフターコロナの年、新たな気持ちで歩み出したとおもいます。

自粛ムードがあまりにも強く世間的にはまだまだ騒動が収まる気配はありませんが、外に出られない今こそ、インターネットなどでとれる情報を駆使し、個々のワイズメンが全体像をよく理解してもらえよう環境づくりにまい進したいと思います。

芦屋クラブ皆様と力を合わせ、みどり作業所寄付などの地域奉仕、2月の留学生交流会、3月のメネット例会、4月の姫路グローバルクラブとの交流、それ以外にも、インターネットでのDBCクラブとの交流、ワイズメンズクラブ六甲部のホームページの改新作業も進めております。

これらの活動を通してYMCA統一ロゴ「みつかる つながる よくなっていく」の精神のもと、ワイズ活動を進めていきたいと思ひます



## 12月例会集計

第1例会出席		例会出席率		BF切手
メンバー	14名	出席者	14名	累計 gm
ビジター	1名	メイクアップ	2名	
ゲスト	8名	合計	16名	
メネット	1名	在籍者	18名	ニコニコ
コメント	名	(内広義会員1名)		円
合計	24名	出席率	88.9%	累計 31,000円

## 12月第1例会(クリスマス祝会)報告

日時: 12月23日(水)18:00~20:30

場所: ホテル竹園芦屋

参加者: 大岩雅典会長、五十嵐政二、上野恭男、柏原佳子、桑野友子、権 甲植、島田 恒、堤 清、中山豊美、羽太英樹・光子、濱瀬真知子、福原吉孝、山口光一(各ワイズ・メネット)、坂本担当主事

ビジター: 鶴丹谷 剛ワイズ(神戸クラブ)

ゲスト: 遠藤景子氏、奥田実氏、舟橋侑子氏、増田知子氏、竹内裕子氏、渡辺徹也氏、藤川友子氏、平松千佳氏

芦屋クラブのクリスマス祝会は、毎年、大勢のお客様をお招きし華やかで賑やかである。

今年はコロナ感染が収まらず、規模を縮小し、芦屋クラブメンバーと招待者を含め24名の実施となった。

大岩会長の閉会挨拶、閉会点鐘で開始となり、礼拝の部は、島田ワイズの司会進行で一同「もろびとこぞりて」のハミング、島田ワイズの開会のお祈り、聖書朗読が行われた。



権ワイズの奨励・お祈りでは、マリア様が困難な中、馬小屋でキリスト誕生を迎え、弱い人や困難の中にある人々のために、今でも私たちのそばに寄り添い見守るために生まれたキリストであり、その誕生を祝い感謝するのがクリスマスであるとの解説があった。その深い意味と大変素晴に富んだ

奨励を拝聴し、厳粛な気持ちとなった。

第二部は、柏原ワイズ、福原の司会で開始した。五十嵐ワイズの食前感謝で始まり、会食となった。肅々とした雰囲気、ワイン等を味わいながらの静かな歓談であった。

飲み物を味わいながら、遠藤氏のジャズピアノ演奏が始まった。最初に、中山ワイズのウクレレと遠藤氏のピアノ合唱で、みんなでジングル



ベルを歌い、会場は笑顔で楽しい雰囲気になった。遠藤恵景子氏のジャズピアノは、私たちのために、ゆったりとして、しかも馴染みのある演目が選択され、今年度のクリスマス会にふさわしい演出であった。会場からも飛び入りで歌やダンスがありクリスマス祝会らしくなってきた。



ジャズピアノ・・・、いいですね！夜中に、ホテルのバーで水割りを片手に、夜景を見ながら、ゆったりと静かに語らいを楽しむ、大人の洒落た雰囲気の中、遠藤氏のジャズピアノを聴いてみたいですね……

続いて坂本担当主事より、ゲームが全員参加で行われ、しばし楽しい笑い声が会場に広がった。



さて、嬉しいビッグニュースが披露された。山口光一ワイズからフィアンセと出席していると報告があり、参加者全員で、大きな声と拍手を笑顔とともに祝福した。

閉会の時間がせまり、上野ワイズから芦屋クラブ発祥の経緯と現在チャーターメンバーは堤ワイズ二人だけになっているのだが、ワイズ活動の意義にも触れた閉会挨拶があった。

最後に大岩会長の閉会点鐘で閉会となった。

今年もコロナ感染の中のクリスマス祝会であったが、ファミリーのような優しく温かいクリスマス会であった。

福原吉孝



### クリスマス祝会は私にとって初めての参加でした

そもそも例会自体への参加が2回目のゲストなのでちょっと緊張気味で伺いました。

でも受付から皆様が大歓迎してくださり、また1度しか例会に参加していない私の顔と名前を憶えてくださり、緊張がずっと解けていきました。

聖句朗読と奨励では、お話を伺い、そのお話から思考を広げ、周囲への感謝の気持ちを改めて持つことができました。



またお食事の時は遠藤景子さんのピアノの生演奏という、とても贅沢で優雅な時間を皆さんと共有することができました。更に中山さんとのウクレレセッションはテンポも上がり、クリスマスの華やかなムードに！そして、ちょっとアルコールが入った後のゲームでは、単純だからこそ引っかけってしまった時の笑いも楽しく、2時間半があつという間でした。

真面目なお話をする時の集中力、そして楽しむ時は全力で楽しむ！メリハリのついた芦屋Y's mens clubのクリスマス祝会。皆さんとご一緒させて頂き、とても楽しく思い出深い1日となりました。

竹林裕子

### 初めてワイズメンズクラブに参加させていただきました

平松千佳と申します。山口光一さんからの紹介で、突然の参加表明にも関わらず快く受け入れて下さりありがとうございます。

クリスマス会では、心地の良い演奏やパフォーマンス、全体で一体となり歌い踊って、楽しくをモットーにされている芦屋ワイズメンズクラブを肌で感じる事ができました。ご縁があって皆様と出逢い交流ができて、とても感謝しています。メネットとしてワイズメンズクラブに参加させていただき、また皆様とお会いできる日を楽しみにしています。

平松千佳



## 魅せられて XII 【IMAGINE・イマジン・想像してごらん】

篠坂幸彦

◆ビートルズの元メンバー、ジョン・レノンが【1980年】ニューヨークで殺害されてから【12/8】で41年になる。このニュースは今だに新聞で度々報道され続けている。◆その歌は今も、人びとを《ひきつける》。美しい声。神秘的でいて、ロックンロール。本来のビートルズの曲とは少し違うスローナンバー。又、ビートルズでのソロ活動の始まりであり、素晴らしいシンガーソングライターの誕生だった。と私は思う。◆NY市公認ツアーガイド・Aさんは【彼は私達一人ひとりに、ごく個人的に語りかけてくる様な存在なんです。それも、困難を乗り越えようとする時にこそ……。】と今も《レノンの魅力》をこの様に語り、観光客らをレノンゆかりの地に案内している。◆英国で生まれ育ったレノンは1971年に妻のオノ・ヨーコさん(88)とNY市に移住した。ご存知と思うが当時は女性解放や反体制派の活動家を扱うなど、政治的メッセージの強い作品が多かった。生きていれば今年で81才であった。◆ツアーガイド・Aさんがツアーで必ず訪れるのは移住直後に暮らした小さなアパート、楽器店、薬局等をめぐり、『10代の頃に自分を見失い、レノンに救われた』と言う様な人達が誕生日の記念にやって来る事もある。そんな時は、あまり話すぎず彼等の思い出を聞く役に回る。と言っている。◆そしてツアーの終わりに、1980年レノンが玄関前で凶弾をうけた自宅マンション【ダコタ・ハウス】(NY市マンハッタン区に存在。ルネサンス様式の歴史ある10階建て高級集合住宅(米国・国定歴史建造物で今でもグレードの高い著名人が住む)を訪れ、そして向かいにある【セントラルパーク】に設けられた追悼場所《ストロベリーフィールズ》に。【毎年12月8日】には多くのファンが集まりビートルズやレノンの歌を歌う。公園の地面にはレノンの代表作のタイトルが記されている【IMAGINE(イマジン)】と。◆1971年に発表された『イマジン』は【国境や宗教、所有欲と言った壁を越え、平和や人類愛を希求する理想主義の極致のような歌詞】その様な歌だと言われている。そして半世紀近く経った今も【NY市テロ事件】【米国内コロナ渦】等の哀悼。【人種差別・銃規制運動】などで歌われている。◆彼は伝えなかった。【世界は変えられる】と信じて★(1部朝日新聞参照)



## 地域食堂

山口光一

子ども食堂は全国にあります。ボランティアでの運営が続かなかつたり、今はコロナで私も思うようにできておりません。そんな中でのこれからの展望について書いていきます。

まず子ども食堂というネーミングですが、そもそも必要なのは子どもだけでなく、高齢者や私のような一人暮らしの人間など、地域の人が年齢問わず共助の仕組みとして助け合う必要があると考えています。ですから私が目指すのは、地域食堂です。一人分の食事を作るのにお金も時間もかかるという理由で、スーパーの出来合いのものや見切り品で済ませてしまう人も少なくありません。酸化した揚げ物は体に悪いですし、やはり食べ物の種類が豊富で、みんなで出来立てを食べることが、医療費の削減にもつながります。

日本ではルームシェアは少なく一人暮らしが多く、コロナ禍ではスーパーのお惣菜の需要が高まっています。しかし売り上げのためにたくさん作り、大量生産大量廃棄になっていることは、食料自給率が低いことも加え大変問題視されています。地域でみんなで食事を共にすればどうなるでしょうか。食べる量はある程度予測できるため、作り過ぎるということはありません。また高齢者は子どもたちと触れ合うことで口数も増え、認知症の予防にもつながっていきます。

そしてできることは食事だけではなくありません。県内の空いている土地を活用して、農作物を作ることから始めることも必要です。大量生産の時代は農薬が必要で、体への影響も懸念されています。家庭菜園を含めそうした活動は、食料自給率を上げると共に健康な食事になりますし、子どもにとっては経験値も増えて免疫力アップやアレルギーをなくすことにもつながります。また私は教会でボランティアでの英語教室や学習指導をしていますが、お金がなくて学習の機会が奪われるなど、教育格差があってはならないと考えています。食事とともに学習や音楽、楽器など、地域の決まった場所に行けば、様々な体験ができるのでしょうか。仕事を引退された方は自分の能力を次世代を担う子どもたちのために活用できますし、なにより認知症を含めた病気の予防、誰が損をしてということなくみんなの生活が豊かになります。

各地域のワイズや教会がイスラエルのキブツの共同体を参考にしつつ地域で助け合うことで、少子高齢化、いきすぎた資本主義、人同士のふれあいの減少、に終止符を打つかも知れません。

## 大阪土佐堀クラブ・宝塚クラブのクリスマス合同例会

中山豊美



12月11日 新宝塚ホテルにてクリスマスランチでの懇親会に参加させていただきました。新宝塚ホテルは宝塚駅近くに移転、以前の重厚さが無く、災害など踏まえて仕方のないことでしょう！大広間に沢山の参加者が来られ、入り口には各クラブの施設のクッキーやお茶など販売もありました。川崎さんや同席の京極先輩は日本初障害者キャンプが余島にて今井先生の元行われた時のリーダーを受け持った素晴らしい方です。勝部さまは、中山が余島キャンプだった時のリーダー、知人の若林弘子さんとシニアキャンプで一緒の宝塚会長福田さまは、甲南大学のちよい先輩と知り聡明な方で大好きです。多胡？さま、武田先生、寿子さまとも再会出来てとてもうれしい会でした。

シャンデリア豪華な会場で大久保有記氏(第63回グラミー賞受賞)の素晴らしいピアノ演奏に酔いしれたとてもうれしいクリスマス会を有り難うございました！昔美味しかったお食事を楽しみにしていましたが、全然違う！フランス料理かなと思うと中華が入り、肉も固く最後の締めがなんとチャーハンで期待していただけにこれが残念でした。

## 聖句 読み解き

イエスは自分が受ける十字架の苦しみの近いことを予感し、弟子たちを連れてエルサレム東方、ゲッセマネと呼ばれる小高い丘の中腹にあるオリーブ畑に行き、三回の苦しみに満ちた祈りをされる。イエスも真の人間だった。殺されることは恐ろしい。このイエスを救ったのが祈りの力だった。祈りによってのみ、人間は神とのコミュニケーションが可能になるからだ。しかし、イエスが必死で祈っているときに、弟子たちは眠り込んでしまう。弟子たちはイエスと祈りを共有することができなかつたのである。そんな弟子たちにイエスは「心ははやっても、肉体は弱い」と叱責される。イエスの孤独が浮き彫りになる場面である。

(佐藤 優「人生の役に立つ聖書の名言」より)

新年 2022 年が始まりました。街角でよく見かけるドラッグ・ストア「ココカラファイン」とは？どういう意味が知らなかった。調べてみると「ココロもカラダもファイン」だと。うまく命名したものだ。新しい年、心身ともに元気で暮らしたい。ワイズダム！

## 12月第2例会報告(抄)

場所： 芦屋市民センター204号室

日時： 12月15日(水)18:00~プリテン 編集会議  
18:30~20:30 第2例会

参加者： 大岩会長、上野、柏原、桑野、島田、羽太、福原  
ZOOM参加者： 菅原、浜瀬、中山、板東、坂本担当主事

(各ワイズ)

## 議事・報告

議事 1) 第1例会

◇12月23日(木)開催のクリスマス例会 最終打ち合せ

◇2022年1月22日(土)六甲部新年交流会を芦屋クラブ  
第1例会とする。

日時・場所： プログラム参照

参加者： 大岩会長、上野、柏原、桑野、島田、羽太、  
福原、(各ワイズ)

◇EMCシンポジウム同日 14:00~15:30

参加者： 大岩会長、島田EMC事業委員、柏原、桑野  
EMC事業委員より芦屋クラブのEMCの現状を発表 3分

◇留学生交流会を2月第1例会とする

日時： 2月28日(月)18:00~20:00

場所： 芦屋市民センター

◇3月16日(水)メネット例会は次回検討

◇4月16日(土)姫路グローバル、芦屋クラブ合同例会を  
芦屋クラブ第1例会とする

議事 2)

◇次期会長 & 六甲部広報委員

2022-2023 年度広報委員は大岩雅典ワイズが会長と兼任

◇会計報告 羽太会計より説明があり承認

◇YMCA報告は、坂本担当主事からコロナ禍に於ける学生  
の現状が話された(詳細はプリテン掲載)

その他

◇2022年1月より第2例会は 19:00~21:00

プリテン編集会議は 18:40~19:00 に変更

書記 柏原佳子

編集後記： 新年明けましておめでとうございます。皆様、  
佳いお年を迎えられたことと存じます。とは言え、年明け  
早々第6波の兆し、またまた自粛の生活になりそうです。  
行事の少ない中、皆様の原稿が紙面を作ります。ワイズ  
に関係のあることは勿論、皆様の周りの一寸した事や感  
じた事を写真と共にどんどん投稿ください。 桑野友子

## YMCA ニュース

### ■神戸 YMCA 学院専門学校日本語学科 クリスマス会

冬休みに入る最後の授業として、神戸YMCA学院専門学校日本語学科の外国人留学生の皆さんによるクリスマス発表会を行いました。これまで一生懸命に勉強してきた日本語を使って発表をしました。

今回はオンラインで、海外の学生たちも参加して発表を行いました。世界のクリスマスを日本で感じることができ、大いに盛り上がりました！この様子を以下 URL からご覧いただけます。

<https://youtu.be/WE7oCF2Clcl>



### ■神戸 YMCA 学院専門学校日本語学科 狂言鑑賞会

神戸YMCA学院専門学校日本語学科の留学生の文化体験として、湊川神社へ狂言を見に行きました。

例年実施している活動ですが、毎年新たな発見や感覚が生まれるプログラムです。

日本人でも古典のことは難しいですが、現代とのコラボレーションもあり、新しい狂言も見ることができました。そして、本物の「面」をつけるという、貴重な体験をした学生も・・・。

昔から受け継がれ、続いている日本の文化はたくさんありますが、このような活動を通して、その楽しさや美しさ、尊さや深さを感じて、日本をさらに理解してほしいと願います。



### ■神戸 YMCA 学院専門学校ホテル学科 模擬挙式

神戸 YMCA 学院専門学校ホテル学科 2 年生がプランニングした模擬挙式を、神戸栄光教会において執り行われました。学生たちの想いが詰まったイベント★主役が新婦 2 人と言う設定、和洋取り混ぜられた装飾、次世代が創り出す世界に惹き込まれました。ご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。



### ■全国 YMCA ピンクシャツデー 情報ポータルサイトのご紹介

「YMCA ピンクシャツデー」は、社会全体でいじめに対して「自分ごと」として向き合い、アクションを起こすキャンペーン。毎年2月に、全国の YMCA でピンクのウェアや小物を身に着けて「いじめのない世界」の実現を呼びかけています。

このポータルサイトでは、全国各地の YMCA の取り組みの様子をご覧いただけます。

一度、ぜひともご覧ください。

<https://sites.google.com/a/japanymca.org/pinkshirtday/>